

## 海外派遣などの貴重な経験を地本で活かしたい！

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）に令和2年の春、陸上自衛隊勝田駐屯地の施設教導隊から赤間2等陸曹が転入した。赤間2曹は、施設科職種でありこれまで北部・東部各方面隊の施設科部隊で架橋陸曹として活躍し特に、平成26年には6月から12月の約半年間、国連南スーダン共和国ミッシヨンの自衛隊派遣団の一員として参加し、主に道路整備などに携わった。当時の経験を「現地は、各民族間の争いで銃撃戦が起き、宿営地外での活動ができず、宿営地内で避難民の対応をするなど不安を抱きながらの任務遂行だったが、今となっては貴重な経験でした」と振り返った。神奈川地本で広報官としての最初の業務は着隊業務であり、初対面の入隊者にどう臨んでいいか戸惑いもあったが、激励しながら無事教育隊へ送り届けた。順調に広報官業務も始まったと思いきや、ウィルス感染拡大防止のため活動に制約をうける中で対象者への個人説明やポスティング等の活動を積極的に行い、今年度の目標達成のため励んでいるところである。

横浜中央募集案内所は「貴重な経験をしている広報官が自信と誇りをもって、堂々とした態度で対象者を入隊に導き、募集成果につながるよう努力していく」としている。



対象者へ説明中



広報動画撮影中の赤間2曹（奥）

## 個別制度説明の実施

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、新型コロナウイルスの影響により中止となった就職・転職合同企業説明会に参加予定だった方や就職先の選択肢の1つとして自衛隊を考えている方に対して、個別説明会、電話による制度説明及びSkypeを利用したリモート説明等、対象者のニーズに応じた制度説明を実施している。

また、受験予定者に対しても受験手続の説明及び入隊後の職種・職域が決まるまでの流れ等を懇切丁寧に説明している。

訪れた対象者は、広報官の説明を聞いて「いつもほふく前進していると思ってました（笑）。話を聞いて自衛官のイメージが変わりました」「色々な仕事（職域）がある事を知ることが出来ました」など意見を聞くことができた。

小田原地域事務所は「今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止に最大限配慮し、対象者のニーズに応じた説明会を実施して、自衛隊の魅力を伝えていく」としている。

